



# 津島高校同窓会 会報



平成21年7月25日  
第58号

発行 愛知県立津島  
高等学校同窓会  
〒496-0853  
津島市宮川町3-80  
電話 0567-28-4158  
発行人 千賀 修一  
編集人 桜木 琢 磨



「智の館」にした旧講堂



同窓会長 千賀 修一

## 徳育について

戦後の経済成長は、市場原理万能、物質万能の時代となり、物や金が最も有用で大切なものとする価値観が生み出されました。

そのあらわれとして、弱い人をターゲットにした振り込め詐欺が増大（平成20年の被害額約二七六億円）し、個人の自己破産件数が平成15年から20年の間に平均年間20万件を超えています。また、官僚社会においては、不正経理、裏金作り、水増請求、収賄、虚偽報告等々が横行しています。わが国においてこれまで最も信頼されている企業の一つである銀行さえも、本業

### ベンジャミン・フランクリンの13の徳

徳観に優れ 誠実さや勤勉さを大切にし、お互いを思いやって協調する気持ちを大切にしていきたい国民でした。

明治33年に本校が開校した当時、経済的にはそれ程恵まれた時代ではありませんでした。津島町が校地や埋立費用を含め多額の寄付をしたことにより本校が開校でき、また学校側もこれに応えて校章、校旗を「三稜の星」をデザインしたものとし、知

育、徳育、体育のバランスのとれた人間教育をするという理想がありました。

戦後は、知育偏重によるいわゆる偏差値重視の教育で徳育の比重が少なくなったため物質万能の時代を迎える前記のような倫理観の喪失から国家全体が閉塞状態にあります。

このような時代こそ本校の三稜の星の一つである徳育を知育・体育と同一比重で行う必要があると思います。徳ということばには色々な意味があるようです。

儒教の徳は、仁・義・礼・智・信の五徳といわれ、また、キリスト教の徳は、信仰、希望、愛であると

のことです。アメリカの独立宣言書の起草者として知られるベンジャミン・フランクリンは、その自伝で以下の十三の徳性を取り上げそれを習慣化することが幸福への道であると勧めています。

- ① 節制
- ② 沈黙
- ③ 規律
- ④ 決断
- ⑤ 節約
- ⑥ 勤勉
- ⑦ 誠実
- ⑧ 正義
- ⑨ 中庸
- ⑩ 清潔
- ⑪ 冷静
- ⑫ 純潔
- ⑬ 謙譲

フランクリンの説く十三の徳性は、人間が成長するうえで必須のものばかりで、特に、節約、勤勉、誠実、正義等はその例です。

徳という言葉の意味は、これ以外にも多く考えられると思います。

同窓会員が同窓会活動に参加するときに、母校で受けた教育を思い起こすよう本年から名称を三稜会と変更します。

本校は来年創立一一〇周年を迎え、記念事業として旧講堂を「智の館」として保存し、多目的建物を母校に寄付し、三稜育英会を創設します。同窓会員の手でこれらの事業を行い後輩の教育の向上に寄与することは、母校で受けた徳育を実践することになると思います。

これらの事業を行うためには多額の資金が必要となりますので、会員の皆様のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。皆様には、日頃より格別のご支援・ご協力を賜りましてありがとうございます。

月日が経つのは、とても速いものでございます。私が本校に着任させていただいて三年目を迎え、定年退職まで残すところ八か月となりました。この二年数か月間、微力ではありますが、本校の運営基盤整備に向けて誠心誠意努めてまいりました。

本校が、従来の殻を打ち破り、個の能力に合わせた緻密な指導体制（方法）の実践を通して、生徒諸君の様々な進路希望を実現し、地元から信頼される学校として更に発展できるようにいろいろな改善・改革の方策を打ち立ててきました。有り難いことに、指導力に優れ、熱意に満ち溢れた多くの先生方のご尽力と、同窓生や保護者の皆様のご協力・ご支援をいただき順調に成果が上がりつつあるものと実感しております。

今春の大学入試におきましては、何十年ぶりとなりまず東京大学への合格者をだすなど、多くの生徒が個々の目標とした国公立大学はじめ有名難関私立大学への合格を勝ち取ってくれました。また、部活動においては、陸上部の三年男子生徒がハンマー投げ競技で東海大会を勝ち抜き、七月末に開催される全国高等学校総合体育大会に出場することが決定しました。このような良い結果が生

まれたのは、生徒自らが、高い目標を掲げ、是非とも実現するという強い意思を持ち、限られた条件の中で、自分の可能性と先生方の指導を信じて弛まぬ努力を続けてくれたからだと思っております。こうした素晴らしい成果は、必ずや後輩達に良い刺激を与え、高い目標が身近に感じられるようになり、そのような環境の中、全国レベル・世界レベルで活躍する人材が育っていくものと期待しています。

本年度も重点目標を「確かな学力とたくましく生きる人間力の育成」として、文武両道を目指し、厳しい中にも温かみのある指導を心がけております。平成十九年度に新たに設置した国際理解コースも三年目を迎えました。英語教育に力点をおいたカリキュラムの実践と一年次には全員対象の英語合宿、二年次には希望者対象の海外語学研修など特色ある行事を取り入れて

校長 水谷正照



## ごあいさつ

を契機に、国際交流に関する講演会、留学生の受け入れなどを積極的に行い、国際感覚を身につけた日本人の育成に努めてまいりたいと思えます。本校は、来年初立百十周年という節目を迎え、更なる発展を期したいと考えております。同窓の皆様には、母校発展のために物心両面で温かいご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



平成二十年の同窓会総会及び合同懇親会は平成二十年八月三日

ウェスティンナゴヤキャッスルで七百名以上のご出席をいただき盛大に開催させていただきました。

幹事学年三十一回生一同、本当に楽しく準備作業を進めさせていただき良い思い出が

できました。合同懇親会では現役高校生の音楽部の生徒さんに素晴らしい吹奏楽の演奏をご披露していただき、ご出席いただいた皆様には喜んでいただけたと思えます。同窓会の諸先輩方、恩師の先生方、事務局の方、音楽部の方、本当にありがとうございました。さて、

### 同窓会幹事学年を終えて

昨年九月以降、日本は未曾有の経済危機に直面しておりますが、千賀会長のリーダーシップのもと、一一〇周年記念事業の成功に向け、母校と同窓会が益々発展していくことを祈念いたしております。我々三十一回生一同も微力ではございますがお手伝いさせていただきます。

高校三十一回生

代表 野田 道雄



平成20年度幹事学年記念品

# 平成21年度 総 会



汗まみれで白球を追いかけた高校時代。津島市宮球場で東邦高校のバンビ、坂本投手と投げあったあの日、四千人近い大観衆の中の息詰まる投手戦。二対

〇で敗れたものの、甲子園準優勝チーム相手に、二点に抑えられた投球は、今でも我が心の勳章です。

今回、縁あって幹事長の大役を仰せつかり、立ち上げから三年余り、ようやく総会にこぎつける事が出来ました。今年、は総会を二部制に区切り、極力時間の短縮を図り、現役高校生の参加という新しい試みも盛り込みました。

右往左往しながらも、ここまでやってこられたのは、会長はじめ、役員理事の方々、恩師、諸先輩の温かいご助言、ご協力のお陰でございます。そして、時には意見

## 総 会 に 向 け て

高校32回生代表幹事 神 田 昭 雄

の食い違いに争ったりしながらも、より良き総会にすべく、骨身を惜しまず動き回ってくれた仲間達に、本当に感謝しております。

来年の一一〇周年記念事業も順調に滑り出しているようです。今年の総会が、来年の成功につながるよう、三十二回生として協力を惜しまぬ所存であります。

三中から現役高校生まで、同じ学び舎で学んだ者同士、心一つになればと願ってやみません。

百年に一度の大不況の真只中、世間の縮小傾向に相反して、津島の天王まつりで打ち上げ花火が復活します。津島高校のグラウンドから打ち上げられる花火は、我々の希望をのせて大きく花開いてくれることでしょう。

ご多忙中にもかかわらず、総会に足を運んでくださいました皆様に心より感謝申し上げます。

母校のますますの飛躍と同窓会の発展、同窓生のご活躍を祈りつつ、幹事学年代表の挨拶とさせていただきます。

## 平成二十一年度同窓会総会次第

日 時 平成二十一年八月二日(日)  
受 付 十時から  
場 所 ウェスティンナゴヤキャッスル  
記念写真 卒業五十年会員(高十二回生・定九回生)  
十時三十分～十一時

(敬称略)

### 【第一部】

- 一 開会の言葉・幹事学年代表あいさつ 幹事学年 神田 昭雄
- 二 物故者への黙祷
- 三 会長あいさつ 同窓会長 千賀 修一
- 四 校長あいさつ 校 長 水谷 正照
- 五 来賓紹介
- 六 議長選出・あいさつ 幹事学年 河村 禎之
- 七 議 事 議 長 河村 禎之

- 八 平成二十年度事業・会計報告 監 事 太田 賢一
- 同窓会会則改正 同窓会長
- 平成二十一年度役員選出 議 長
- 平成二十一年度事業計画・予算案審議 議 長
- 一一〇周年記念事業について 実行委員長 千賀 修一
- 卒業五十年会員紹介・記念品贈呈 十二回代表 伊藤 健市

- 九 幹事学年記念事業贈呈 幹事学年 矢野 由美
- 閉会の言葉 幹事学年 北角 浩一

### 【第二部】

- 一 津島高等学校の今 DVD(五～十分)
- 二 生徒会長あいさつ 津島高等学校生徒会長
- 三 音楽部紹介 津島高等学校音楽部
- 四 音楽部演奏 音楽部の演奏で
- 五 津島高等学校校歌斉唱
- 六 閉会の言葉 司 会 太田 祐一



▼最近4年間卒業生動向

	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	
卒業者数	女	136	125	129	153
	男	278	275	274	277
大学進学	女	106	95	86	104
	男	225	230	221	207
短大進学	女	19	18	25	23
	男	20	18	26	23
専修専門学校	女	10	8	15	20
	男	15	10	17	27
浪人	女	1	1	2	2
	男	15	13	7	15
就職	女	0	2	0	2
	男	2	3	0	2
家事その他	女	0	1	1	2
	男	1	1	3	3

▼平成21年 大学合格者状況

	大学名	平21	大学名	平21	大学名	平21	大学名	平21
国立	北海道教育大	1	名古屋市立大	2	愛知淑徳大	36	藤田保健大	3
	室蘭工大	1	下関市立大	1	愛知学院大	27	名城大	81
	秋田大	1	国立大計	62	豊橋創造大	1	皇學館大	1
	東京大	1	公立大計	62	桜花学園大	4	鈴鹿医技大	3
	横浜国大	1	慶應義塾大	1	金城学院大	39	四日市看護大	3
	富山大	5	青山学院大	3	相山女学園大	30	京都精華大	2
	福井大	3	芝浦工大	1	大同大	4	同志社大	3
	岐阜大	5	桜美林大	1	中京大	24	立命館大	7
	名古屋大	3	北里大	1	中京女子大	1	龍谷大	3
	愛知教育大	3	東京理科大	2	中部大	19	関西大	3
	名古屋工大	5	成城大	1	東海学園大	8	奈良大	1
	豊橋技科大	1	日本大	5	名音大	1	その他	4
	三重大	14	法政大	3	名学院大	3	私立大計	564
	島根大	1	明治大	4	名外語大	23	岐阜市立女短	12
	愛媛大	1	関東学院大	1	名女大	4	三重短	9
	高知大	1	東海大	4	名学芸大	5	岐阜聖徳短	1
	佐賀大	1	東京農業大	3	名経大	2	一宮女子短	1
	琉球大	1	神奈川工大	3	名商大	5	名古屋短	12
	釧路公立大	1	金沢工業大	5	名文理大	3	名文理短	1
	高崎経済大	1	北陸大	2	名芸大	3	名女大短	4
福井県立大	1	岐阜聖徳学園大	13	南山大	31	名柳城短	3	
静岡県立大	1	愛知大	62	日福大	17	南山短	3	
岐阜県立看大	1	愛知医科大	1	名造形大	1	短大計	46	
愛知県立大	5	愛知工業大	39	日赤豊田大	1			

■平成20年度 同窓会会務報告

- 同窓会理事会・幹事会 平成20年5月24日(出)
    - 平成20年度総会に関すること
    - 会務報告、会計報告、予算案、役員改選
    - 創立110周年記念事業に関すること
  - 幹事学年実行委員会 平成18年4月から
  - 校内事務局打合せ 平成20年5月
  - 同窓会会報(第57号)の発刊 平成20年7月22日(火)
  - 平成20年度総会(幹事学年高校全日31回生・定時制28回生)
    - 平成20年8月3日(日)午前11時15分より
    - 会場 ウェスティンナゴヤキャッスル 参加者約800名
- 記念撮影(高11回・定8回)
- 総会
- 会務報告、会計報告、予算案、役員改選
  - 卒業50年会員表彰 高校11回生・定時制8回生
  - 卒業30年会員表彰 高校31回生・定時制28回生
  - 幹事学年記念事業 幹事学年寄贈・松の木募金
- 国際ルームパソコン用英語教育ソフト一式(一クラス分) 並びに職員室用パソコン・プリンター各一台
- 懇親会
- 臨時理事会 総会当日 午後3時30分より  
ウェスティンナゴヤキャッスル2F「ル・パレ」  
110周年記念事業の進め方等について
- 同窓会理事会・幹事会 平成21年10月18日(出)
    - 平成21年度・22年度の総会会場について
    - 「三稜文庫」の創設、110周年記念事業について
  - 創立110周年記念事業正副部長会議 平成20年12月6日(出)
  - 同窓会入会式(全日制第61回生入会) 平成21年2月26日(休)
  - 同窓会臨時理事会・110周年記念事業実行委員会 平成21年2月28日(出)

■平成21年度 同窓会事業計画

- 同窓会理事会・幹事会・110周年記念事業実行委員会 平成21年5月23日(出)
  - 平成21年度総会に関すること
  - 会務報告、会計報告、予算案、役員改選、会則改定 他
  - 創立110周年記念事業に関すること
- 同窓会報(第58号)の発刊 平成21年7月25日
- 平成21年度総会(幹事学年高校全日制32回生・定時制29回生)
  - 平成21年8月2日(日)午前11時より(受付 午前10時より)
  - 会場 ウェスティンナゴヤキャッスル
- 同窓会理事会・幹事会 平成21年10月
- 同窓会入会式(全日制第62回生)平成22年2月26日(金)
- 幹事学年実行委員会
- 創立110周年記念事業実行委員会
  - 創立110周年記念事業に関すること

平成21年度 職員異動

○退職・転出された方々

職 位	氏 名	学 科	退 職 先
〈全日制〉教 諭	中島 美幸	(理科)	一宮南高校
〃	望月 淳子	(国語)	美和高校
〃	中西 悦子	(数学)	西尾東高校
〃	松浦 正	(地公)	退職
〃	伊藤 昇	(理科)	退職・津島東高校 (再任用)
〃	小島 弘子	(数学)	退職・松蔭高校 (再任用)
期 限 付	黒川 貴司	(保体)	佐織養護学校 (非常勤)
〈定時制〉教 諭	矢永 昭一	(保体)	一宮北高校(教頭)
教 諭	横山 了祥	(数学)	退職
〈事 務〉主任主査	田中 義仁		佐織養護学校 (事務長)
事 務 長	河野 重夫		退職・一宮北高校 (再任用)

○新・転入された方々

職 位	氏 名	学 科	入 職 先
〈全日制〉教 諭	寺本 修	(国語)	明和高校
教 諭	平野 直子	(英語)	南陽高校
〃	鈴木 博己	(地公)	津島高校(定時)
〃	小池 弘見	(数学)	一宮北高校
〃	立松 秀樹	(理科)	津島東高校
〃	藤井 俊介	(保体)	一宮東養護学校
〃	浅井千恵美	(国語)	新採用
〃	竹田 理恵	(理科)	期限付講師
〃	服部 敏彦	(数学)	惟信高校(再任用)
〃	早川 益雄	(理科)	一宮興道高校(再任用)
実習助手	中島 順子		津島高校(再任用)
〈定時制〉教 諭	伊藤 和明	(英語)	稲沢東高校
教 諭	奥村 良子	(数学)	起工業高校 (昼間定時)
〃	篠田 良彦	(地公)	木曾川高校
〈事 務〉事 務 長	佐藤 孝夫		稲沢東高校
主 任	伊藤 勝利		南陽高校

### 現役津島高校生東大合格！

今春卒業した水野広介君（甚目寺町）は、見事東京大学（理I）に現役で合格しました。水野君は、勉強のみならず本校水泳部部长として最後まで部活動を続け、部員からの人望も厚く、文字通り文武両道を実践してくれました。

この春は、水野君以外にも、早稲田・慶応への合格者を出すなど、生徒の進路希望実現に向けて職員一同頑張っています。

### 森祐也君 インターハイ出場決定！

陸上部の森祐也君（三年）は、今までもハンマー投げで優秀な実績を上げてきましたが、この度の東海大会で六位に入賞し、七月末に奈良県で開催されるインターハイ（高校総合体育大会全国大会）への出場が決まりました。森君の健闘を祈っています。

### ラグビー部水谷君、国体 愛知県選抜に候補入り！

三年生のラグビー部員水谷真也君（ラグビー部元部長）は、この度七月十九・二十日に実施

## 母校の近況報告

される千葉遠征に参加が決定し、そこで選考されれば八月十一日からの菅平強化合宿に参加、八月二十二・二十三日に静岡県で行われるミニ国体に出場します。水谷君の健闘を祈ります。

### 国際理解コース 設立3年目

平成十九年度より開設された本校の国際理解コース（学校独自の設定科目として英語を重視したカリキュラムを組み、将来の国際人を育成すべく、留学生の交流や国際理解に関する講演会等を実施しています。）も三年目を迎え、一年生から三年生までがそろい、来春初めての卒業生を出します。

このコースでは、一年時に英語合宿、二年時に海外研修（希望者対象）を実施したり、南山大学と連携した教育活動を行ってきました。また、英検等の資格試験にも熱心に取り組み、大勢の生徒が英検2級・準2級を取得しました。今年度からは英検以外にもTOEICに取り組みなど、ますますの発展に向けて職員も張り切っています。

### 同窓会員による講演

総合学習の時間に一年生全員（三二〇名）を対象として高校、大学、社会人の各時代の体験談と高校時代やっておくべきこと等について同窓会員から講話をして欲しいとの要請を受けました。学校から同窓会に対する講話の依頼が初めてであることから、千賀修一同窓会長が引き受け昨年七月三日講話をしました。

この講話を契機に同窓会として今後在校生に対し継続的に同窓会員が講演を行うことを検討しました。そこで、昨年の津島高校文化祭に、会員二名に左記の講演をお願いしました。



1年生の総合学習で講話をされる横井義一氏



昨年三樓祭での同窓会講演会

日時 平成二十年九月九日 十二時二〇分より  
場所 津島高校図書館  
講師 同窓会副会長 三和スクリーン銘板代表取締役 後藤 務殿（13回生）  
「スクリーン印刷について」  
尾張地区から生まれた最先端技術」

講師 元日本アイビーエム株式会社社員 石原 宏紀殿（14回生）  
「コンピュータとは？その機能と役割」

また、今年四月には一年生の総合学習において常任理事の横井義一殿が人生講話をしてくださいました。

### 平成21年度 同窓会役員等（案）

相談役	津坂 園子 高15	*稲葉 真弓 高20	*服部 貴 高22(会計)	*青山 道男 高24
服部 昭三 中41	山田 もと 女29	児玉 甚之助 中44	佐藤 英夫 高5	加賀 善康 高9
大橋 忠行 定9	田中 秀彦 高13	浜田 一徳 高18	伊藤 文郎 高24	横井 五六 高27
顧問	松岡 貞夫 高12	佐藤 忍 高17	水谷 正照 高20	千賀 修一 高14
副会長	佐藤 嘉國 高7	大橋 武昭 高10	後藤 務 高13	*横井 義一 高15
	*城 正憲 高18			
★常任理事	渡辺 琢磨 高14	桜木 琢磨 高14	寺本 修 高14	
事務局	鈴木 賢一 高22	太田 睦 高10	伊藤 紀彦 高36	*野田 道雄 高31
監事	田中 光弥 高30	長谷川 高弘 高29	林 啓泰 高28	横井 章浩 高27
	本多 章浩 高26	石川 鑛一 高25	寺田 百合 高23	東海 広光 高21
	大島 静子 高20	片岡 哲雄 高19	加藤 貞雄 高17	岡田 真雄 高16
理事	津田はるみ 高4			

平成21年度	津島高等学校同窓会校内事務局
山内 良正 高21	小笠原正士 高32
石野 順子 高22	石田 伸夫 高33(会計)
水谷 忠司 高26	田中 道徳 高33(会計)
諸戸 義巳 高27	黒澤 康敏 高34
平井 章博 高29	橋本 昇 高36

# 恩師のたより

## 母校での教員スタート

一組担任 橋本 昌之 先生



津島高校を昭和四十七年に卒業し、昭和五十年に教育実習生として母校でいろいろ勉強させていただき、まさか昭和五十一年に新任としてお世話になるとは思ってもみませんでした。恩師の先生がたくさんみえるなかで教員生活をスタートできたことは、やりにくい反面たくさんご指導していただき、自分を成長させることができました。

昭和五十一年に新任として三人着任し、昭和五十二年に一年生の担任を三人とも希望しましたが、一年生の担任希望者の数がクラス数より一人多くなってしまうので担任を決めるのに職員会議で大変もめたことを覚えています。確か夜の九時過ぎまでかかり、夕食ができました。最終的には私と大井先生と及部先生の同期生三人が担

任を持つことができ三人で喜んだことを覚えています。

私は担任としてできることはいろいろ工夫しながら三年間やってきたつもりです。三年生では理系の担任を持ちましたがクラスから教員になった生徒がいて、それも数学・国語・保健の先生であり、今もそれぞれの学校で活躍しております。

部活動は弓道部を持ち男子団体のインターハイに行ったことは忘れることはできません。

それでは、津島高等学校のさらなるご発展と、同窓生の皆様方のご健康とご活躍を心からお祈りいたします。

## 若き日の思い出

二組担任 加藤 貞雄 先生



津島高校に赴任したのは、教員になって六年目の年で、教員としてある程度の経験を積み、学校というものも分かったつもりでしたが、大きなカルチャーショックに見舞われました。以前は新設校に勤務していたために、最初の頃は、伝統校とのギャップに大いに戸惑

いを感じ、学習・生徒指導に悩んだものでした。しかし、三年目頃からは津島の校風にも慣れて、楽しく、自由に、様々のことをやらせてもらいました。

特に、クラスのLT活動はいろいろと企画し、大変印象深い思い出として残っています。七夕・餅つき（野崎先生が、昔の杵柄を發揮されて、生徒と楽しく、つかれたのを思い出します）、クラスでの合唱コンクール（音楽の大橋先生に審査をお願いして、「大都会」は傑作でした）、クラスでの模擬衆議院選挙（社会科学の先生に政見公約の解説を頼み）、テンフィート運動（広島原爆のフィルムがアメリカで発見されたので、購入し、全国に広めようという運動）の上映、そのための「広島ノート」、「黒い雨」等の読書会、意見発表などの活動等を懐かし思い出します。

津島の校風、自分の若き、教育の経験などが大変うまくかみ合っており、自分の教員生活の中でこのような充実した経験ができたことを（生徒は迷惑だったかもしれないが）、誇りに思っています。自分の思い描く教育というものを、幾分なりとも実践できたのも、津島高校の校風、協力していただいた先生、それに応えてくれた生徒諸君の努力のおかげだと感謝する次第です。

教育は「みちくさ」と考える私にとつては、競争を強い、評価・結果をすぐに求める現在の教育制度の中ではとても考えられないと思われる経験をさせていただき、

教師冥利に尽きると思っています。多謝。

## 思いつくまま

学年主任 三組担任

西井 松生 先生

をかへの高校津島雲白く：で始まる津島高校の校歌、私は大好きです。特に「若き日は返らぬものを、我等いざ明るく生きむ」「楽しく生きむ」「正しく生きむ」の「明るく、楽しく、正しく」は二十四歳で赴任した若き私の心に深い感銘を与えました。島崎藤村の「人の世に三智あり」の言葉と共に、以後の私の生き方を示してくれました。

私は、津島高校を最後に退職して十一年目になりますが、今学校法人名古屋電気学園に顧問としてお世話になっています。私学は、志願者が集まらないと学校経営が成り立ちませんから、常に学校改革、とりわけ、教育内容の改革を押し進める必要があり、先生方も必死です。

「学校の文化水準は図書室にあり」と私は思っています。津島高校の図書室は、県立高校の中でも指折りの蔵書数を持ち、卒業生文庫も充実しています。活用方法を先生方だけでなく、同窓会でも考えたらと思います。土曜日に地域開放でも行なったらどうでしょうか。

たった今、私の中学時代の同窓

生の計報が入りました。今年三月三日に鳥羽で開いた同窓会の場で、笑顔いっぱい歓談した人が、あんなに元気だった人が、と大きなショックを受けています。同窓生とは幾つになってもすぐに少年、少女時代に戻ることができ、物事を純粋に考えている自分の姿に気づき、心楽しくなります。

## 近況

五組担任 森 幹男 先生



三十二回生の卒業アルバムを探し出し、なつかしくページをめくりました。あの頃の私は三十歳半ばのバリバリの時でした。女子クラスの担任でしたが、ひよっとしたら厳しいだけの体育教師だった

かもしれません。もっと優しく、楽しくやればよかったと思ったりしています。

さて近況ですが、津島高を昭和六十年に転出し、稲沢東高から一宮高へ行き定年退職しました。その後再任用教諭として二年勤め、現在は一宮興道高で非常勤を週三日楽しくやっています。あいた日は少しばかりの畑で家庭菜園に挑戦しています。春に収穫したスナップエンドウは大層おいしく、大評判でした。玉ねぎも豊作、じゃがいもはまあまあ、今はきゅうりやナスができて始めています。畑を耕し、種を蒔いたり苗を植え付けたり、夜盗虫を退治しながら収穫の喜びを満喫しています。

体操の方では、底辺拡充を目的に昭和五十四年から始めた「一宮ジュニア体操スクール」を週一回、大学生スタッフと一緒に続けています。また高校の体操部コーチもやっています。六十五歳の記念にと鉄棒の車輪をやって見せたらアンコールがかかりました。毎朝のストレッチや補強、夕方のウォーキング等、体力維持に努めています。三十二回生の皆さんもそろそろガタがくる頃かと思えます。どうか健康には十分留意してご活躍ください。

## 近況について

六組担任 中野 善照 先生



同窓会の皆様には、日頃ご無沙汰しておりますが、それぞれの分野でご活躍のことと拝察申し上げます。

私は昭和四十八年から平成三年まで、実に十八年間津島高校でお世話になりました。その間「智・徳・体」の三稜の精神が学校の隅々まで行き亘っており、さすがに歴史と伝統のある学校だなあと感心させられました。

ところで、私は七十四歳になりましたが、一昨年ちよつとした不注意で足を骨折し、今も足の痛みに耐えつつも、年中無休で法務に専念しております。老いぼれると、気力も体力も衰えるので「年を取ったと思うな！」と脳裏に刻みつつ頑張っております。

最近、新しいことに取り組んでいることがあります。それはボランティアで、老人福祉施設へ出向いて、お年寄りの方々とお経や讃歌の稽古をしたり、宗教講話をしたりしているという事です。施設に入所している人々の前に



立つと、深い顔のシワに長い人生の苦楽の姿が如実に感じられ、胸にジーンと来るものを感じます。ですから私が出向いた時には「皆さん、大きな声で笑いましょ、歌いましょ」とストレスの発散に一役かかってくるのです。楽しく有意義ですよ。

## 若いころ

七組担任 佐藤 啓次 先生



今から三十年ほど前、結婚して子供が生まれ、段々成長してゆくころ。津島高校で三回りの学年を担当しました。一年目は副担任でしたが、二年、三年と担任をしました。教員になりたてのころは、ただがむしやりに、段々といろいろなことが解つてくると恐る恐る、やつとまあ落ち着いて、生徒を看たり、あれこれ考えたりできるようになったころでした。

自分に子供ができたからかもしれませんが、生徒が可愛く思われるようになってきました。勿論、気にくわいな奴も、変な奴もいるのですが、そんな奴も何か可愛く感じられるのです。だからと言っ

て、教え方が変わるわけでも、生徒に接する態度が格別変化するわけでもありません。今まで通りに教員として、精一杯仕事をしていました。

そんななかで、今でも記憶しているのは、二年の正月、生徒から沢山年賀状が来たことです。数えてみました。担任している生徒からだけで、二十九枚ありました。それが他と比べて多いのか少ないのかは判りませんが、私にとって嬉しかった数で、とても幸せな気持ちになりました。大変楽しい教員生活でした。

## 民主的で人間味のある

津島高校

八組担任 大井 豊 先生



三十数年前、赴任が決まって、初めて津島高校に向かう三月の末、私は名古屋駅から名鉄津島線に乗り、津島へ向かった。名鉄には時々乗ったことがあるが、須ヶ口より西へは足を運んだことがなかった。午前十一時ごろ、電車が快調に西へ向かう。車窓から春を告げる草花が咲き乱れているのが一面に見

え、緊張の中にも田園風景に心を和ませていた。青塚駅を過ぎてまもなく、電車は警笛を鳴らし、ブレーキがかかり、停車した。見ると子どもたちが線路脇で「つくし」をとっているではないか。つくし取りの子どもたちが電車を止める運転手もさほど怒らず、再び電車は出発した。のどかで、伸びやかなこの一件で津島という町に人間の温かさを感じた。

歓迎会は毎年津島神社脇の料理旅館「まのや」で行われていた。由緒ある旅館で、まるで明治か大正の時代にタイムスリップし、『坊ちゃん』の世界にいるような錯覚を覚えた。

初めて担任を持たせてもらったのが、今年の幹事学年である第三十二回生の生徒たちでした。未熟なHR担任、教科担任にもかかわらず、生徒たちは授業をよく聞いてくれました。

私が赴任した時、ちょうど柔道部顧問の先生が転勤され、後釜に私が主任顧問を仰せつかりました。柔道経験もほとんどない白帯の身で柔道場に向かうのは苦痛でした。乱取りをやつてもはるかに生徒の方が強く、惨めな日々を送っていました。指導に求められる柔道教師の先生方に助けられ、何とか顧問を続けることができました。

さて、津島高校は民主的に学校が運営され、民主主義と自主性を学ぶには最適な学校でした。これからは津島高校が日本の民主主義の屋台骨を支える伝統を守り続けることを祈念します。

## 地学全盛期のころ

九組担任  
森 勇一 先生



最近の高校生に、「地学」という科目の話をして、まったく通じない。それどころか、へえ、そんな科目、高校にあったの？ それどこの県の話？といわれる始末である。もちろん、現在の津島高校にもない。もう三十年も前のことになるのだから、変化の激しい昨今のこと、無理のない話であろう。

三十二回生の皆さんが、津島高校で高校時代を過ごしたころ、私自身は二十代後半からちょうど三十になったばかりであった。今振り返ってみると、若さの余り、いろいろなことにチャレンジしたものだと思う。

当時、地学部は五十名近い部員がいて、「濃尾平野の総合的研究」を合言葉に、海部・津島地域の地下水調査や電気探査を行ったり、この時期、社会問題化していた地盤沈下や地震時の液状化災害に取り組んでいた。また、ナマズ・ヘビなどの動物

や地下水水位変化などから、地震を予知する手がかりが得られないか、多くの人々に呼びかけて必死にデータを集めていた。

この当時、津島高校では地学はあたり前のように開講され、誰もが疑うことなく受験科目に選んでいた。不思議な時代、不思議な学校だった、と今になって思う。旧三年九組は、前年に引き続き地学を受験科目に選択した生徒諸君を中心に編成したホームルームだった。隣が便所だったため、梅雨のころはトイレの臭いで悩まされた記憶があるが、気の良い生徒が集まった素晴らしいクラスだった。教室には、一年間「地学上位番付」なるものが張ってあって、今なら個人情報観の観点から、教育委員会のお叱りを受けることだろう。

本年三月、公立高校を退職し、五月三十日には、地学部や三年九組地学クラスの皆さんが中心となって、「退職記念講演会と懇親会」を行っていた。何か気恥ずかしい気持ちでいっぱいだった。

現在は、国際日本文化研究センター共同研究員として環境変動の研究に携わるとともに、金城学院大学薬学部にて、教職をめざす諸君に、理科教育を担当している。

今こうしてあるのも、私のような駆け出し教員を温かく見守り自由に教育活動に専念できるように支援いただいた津島高校の

諸先生方や生徒諸君のお陰であると思う。

津島高校のますますの発展と三十二回生の皆さんの今後の活躍を心よりお祈りします。

## 「出会いは一生の宝」

十組担任  
中西 幸子 先生



昨年、クラス会を開いていたとき、久しぶりに卒業生の皆さんとお会いできました。在学当時は、やんちゃな男の子が、多くの従業員をまとめて頑張っておられる様子を聞いたり、我が子のためにいいお母さんぶりを発揮している優しかった女の子たち。津島高校で、お世話になったのは五年間と短かったのですが、思い出はいっぱい。と申しますのは、三十二回生の方々がわたしの担任した初めての卒業生だったからです。

若葉のトンネルをくぐって入った津島高校は、アカシアの花の甘い香りと女の子の華やかな笑い声や笑顔が新鮮でした。年一回の野外LT・修学旅行の企画・運営など、生徒が主体的に活動する場が多くて、担任ははらはらどきどきしながら、ついて回っていました。

その後、平和高校、県教委生涯学習課、一宮西高校に勤務。退職後は、大学、専門学校、高校等で国語、日本語などを教えて現在に至っています。

新しい学生に出会うたび、「出会いは、一生の宝、同じまなびやで過ごした楽しい思い出、学習や行事、部活動で懸命に努力した思い出は、困難に出会った時、きっとあなたを勇気づけてくれる」と言ってきました。これは津島高校の皆さんからいただいた大切な心の贈り物です。



## 平成20年度卒業生 3年間皆勤賞

七組	六組	五組	四組	三組	二組	一組
石佐杉服平渡安日	鈴木曾平東吉日	佐寺服馬樋三山大山	伊西細水伊	山田川小村	伊藤林秋宮奎	小水
黒藤部野辺藤原	木根浦野川比	藤村部場口輪内山	藤尾江谷	美田口林橋	野田	野川
文舞江智真智えり	菜理帆里	友真由仁有は	あゆみ	ひとみ	大千	浩介
石	黒	佐	み	葵	弘	輔

## 同窓会会則の変更について

新たな名称「三稜会」へ

本年五月二十三日開催の幹事会・理事会で以下のとおり会則を変更することが議決された。

津島高校創立時の教育理念である知・仁・勇（知育・徳育・体育）を同窓会員が常に考えることができるよう会の名称を「三稜会」とする。

これまで総会で事業報告・収支決算・予算の承認を議決しているが審議する内容は既に幹事会・理事会で審議され

### 同窓会会則の変更

#### 第1条

**(現行)** 本会は、愛知県立津島高校同窓会と称する。

**(変更)** 本会は、三稜会と称する。

#### 第16条（総会）

##### 4項（現行）

- (1) 毎事業年度の事業報告及び収支決算の承認
- (2) 毎事業年度の事業計画及び収支予算の決定
- (3) 役員を選任
- (4) 会則の変更
- (5) その他理事会において必要と決めた事項

##### 4項（変更）

- (1) 役員を選任
- (2) 会則の変更
- (3) その他理事会において必要と決めた事項

殆どそのまま承認されている。

来年から津島文化会館で総会をする場合、多くの人が着席できないと思われるので、総会をできるだけ短時間で終わらせたい。

そこで、事業計画・収支決算・予算の承認を幹事会の議決事項とし、総会議決事項を役員を選任と会則の変更という重要な事項にする。

#### 第18条（幹事会）

##### (現行)

3項 次に掲げる事項について、理事会においてあらかじめ幹事会の意見を聞かなければならない。

- (1) 予算および決算についての事項

- (2) 役員を選任、会則の変更
- (3) その他会務の運営に関する重要事項で会長又は理事会において必要と認めた事項

##### (変更)

3項の次に以下の4項、5項を追加する。

- 4項 幹事会において、次の事項を議決する
- (1) 毎事業年度の事業報告及び収支決算の承認
- (2) 毎事業年度の事業計画及び収支予算の決定
- 5項 議決は、出席者の過半数をもって決する。

## 三稜文庫の創設

「知・仁・勇」すなわち知育・徳育・体育が本校の創立時の教育理念であります。しかしながら、戦後教育は、ともすれば学歴偏重、知育重視の面が強く、徳育の部分が薄れてきて

いると思われまます。

生徒達に成長してもらおうと先生方に日常的に徳育的な教育をしてもらうことも大切ですが、生徒自身に自学自習してもらって徳とは何かを学んでもらう必要があると思ひます。

生徒達に自学自習してもらうために必要なことは、学ぶための道具すなわち書籍が必要だと思ひます。一冊の本との出会いでその人の人生が変わることもありまます。読むべきときに読むべき本があることが最小限必要です。

現在の津島高校の図書室にも相当数の蔵書があるようですが書籍を購入する予算に限りがあるようです。

また、よりよい授業や教育をするためには、先生方に読んでもらう本も揃えた方がよいと思ひまます。

そこで、同窓会とPTAが協力して生徒や教職員の先生方に読んでもらえるような本を揃える三稜文庫を旧講堂内に創設したいと思ひまます。

三稜文庫を創設し維持する資金は、同窓会としては毎年の総会で集められる会費を節約して充てることや、同窓会の総会会場で三稜文庫寄金として集める方法があると思ひまます。

また、同窓会の会員から在校生向けに書籍を寄付してもらい、できるだけ新しい本を取り揃えたいと思ひまます。三稜文庫は、在校生がいつでも手にとって読める開架式とし、また、管理も在校生が自主的管理する方式をとりたいと思ひまます。



旧講堂改修完成予想図  
『自習室と三稜文庫』

## 川端康成文学賞受賞

稲葉真弓さん



女性作家として活躍中の稲葉真弓さんは、

高校時代演劇部に所属し、高

校二年生（昭和41

年）のとき文藝春秋が全国の高校生から「アンネ・フランクに贈る詩」を募集したのに応募して二位に入賞したことがきっかけになり文学の道に入ったとのことです。その後、昭和48年「蒼い影の傷みを」で女流新人賞・昭和55年「ホテル・ザンビア」で作品賞・平成二年「琥珀の町」で芥川賞候補になる。平成四年「エンドレス・ワルツ」で女流文学賞・平成七年「声の娼婦」で平林たい子文学賞を受賞しました。

稲葉さんは、現在東京都心のマンションに居住し、約12年前に志摩半島に土地を買い別荘を建築しました。この別荘の建築から別荘での自然の中での生活を作品にした「海松」で平成20年度川端康成文学賞を受賞しました。このように文学界で活躍されている稲葉さんに平成21年度から同窓会の常任理事をお引き受けいただくことになりました。

※海松（みる）は、ミル科に属する緑藻類の一種で、全体の形が松の木のように末広がりになっていることから海松の漢字を当てたといわれています。

## 真野廣画伯を訪ねて

稲葉真弓（高二〇〇）



真野廣さん。大正八年（一九一九）津島市片町生まれ。ご実家はかつて裕福な炭屋さんを営んでおられたそうです。屋号は木伝商店。お父様は三中の第三回卒業生真野鑽さん。屋号など、記憶されている方もおられるかもしれない。

真野さんは昭和14年帝国美術学校（現・武蔵野美術大学）に入学、昭和43年、パリを中心にヨーロッパ、アメリカに留学、昭和50年二紀会会員になり、以後旺盛に作品を発表、いまま現役の画家である。

私が真野画伯のことを知ったのは、同窓会長の千賀修一さんから電話があった五月の終わりのことだった。

「稲葉さん、津島市出身で世界的に活躍しておられる画家と近々お会いするこ

とになりましたが、ご一緒しませんか」その電話の中で、真野画伯が津島市に六五〇〇万円もの大金を寄付（二〇〇五年）をなさったこと、裸婦像が得意であることなどを知った。

梅雨入り宣言があったばかりなのに、お約束した六月十八日は雨が降らなかつた。JR高円寺の駅まで迎えに来てくださった真野画伯は、白い髪はともかく九十歳とは思えない足取りと皮膚の艶。闘病中のお体と伺っていたのに、声もきびきびとよく通る。目の色がお若く、骨格がずいぶんしっかりした方だなあとというのが私の第一印象だった。

駅から歩いて三分程度のアトリエには、壁いっぱいには妖艶な美女たちが並んでいた。つやつやした黒髪に豊満な乳房、腿の肉などはち切れんばかり。官能の極みのような美女達の背景には、古代の神殿やヨーロッパの橋などが細密に描き込まれている。

私は絵のことは門外漢、専門的なことはわからない。わからないけれども、それらの絵には、額縁から飛び出しそうなほどの生命感、肉体からじみ出る豊かな官能、どの絵にも命の喜びがほとばしっている。中近東風の顔立ちの女性像が多いのは、ペルシャあたりの女性の顔が好きだからだろうか。

画伯の話は、絵のことから津島で過ごされた青春時代へと移っていったが、親しかった同世代の方はもうほとんどが鬼籍に入られた。先に触れた津島市への高額寄付は、ご自分の年齢を考えたの決意だったそうだ。

もともと画伯は、作品を収蔵する個人美術館を実家跡に建設するつもりだった。それが土地面積の問題などから暗礁に乗り上げてしまった。ちよūdōそのころ、市では津島神社の結婚式場の修復計画が立ち上がっており、結果、市長の尽力、市議会の決議で、結婚式場の隣に真野画伯の美術館を建設する話が決まったのだ。画伯が寄付されたのはこの美術館の建設基金なのだ。

竣工は二〇一一年の予定で、美術館には真野画伯の絵が一〇〇枚寄贈されることになっている。加えて、画伯は津島高校にも絵を寄贈してくださるといふ。同校もいま、創立一一〇周年記念事業の一環として、旧講堂を改築し冷暖房完備の自習室にする「智の館」づくり、論文顕彰事業など新機軸の計画が進んでいるという。画伯の絵は、その豊かな生命観によって、これから同校を母校とする若者たちの心に、生きる喜び、表現することの面白さをもたらしてくれるだろう。

千賀さんと私は、約二時間後、アトリエを辞めたのだが、部屋にひしめいていた絵の中の私たちの生命力が乗り移ったのか、自分がやけに元気になっているのに気付く。

遠く故郷と母校を離れて数十年。東京でこんな出会いが待っているとは想像もしなかった。そんな感慨にふけりつつ、大股で歩いた。

美術館ができるまであと少し。真野さん、どうかお元気でいらしてくださいね。

## 津島高校（三中）の誘致

全国の小学校、高校で創立一〇〇周年〜一一〇周年の記念事業が開催されています。

当時の日本は国民に等しく教育を施すため官民一体となって全国各地に学校を建設していましたが、国民の要望に追いつかないほど。こんな教育事業を全国組織で展開したのはアジアで日本だけでした。国が充実し、人々が豊かになるにはまず学問が必要で、明治時代より遙か前、「寺子屋時代」を想像してもよく分ります。

さて、尾張地区に愛知県で三番目の中学校設立が計画された明治三十二年、津島町長だった小島音三郎氏は、同年十一月二十七日、町議会を招集し中学校誘致を決議します。誘致運動の末、建設許可の見込みが立ったため、同三十三年一月二十三日、あらためて町議会を開議。小島町長は、現在の宮川町の農地約四町歩（一二、〇〇〇坪）を学校敷地のほか埋立て工事費一〇、八二九円の負担（合計で現在のおよそ十億円相当）、耕作移転の補償料などを寄付すると決議し、愛知県知事に同年三月六日、寄付を申し出て、愛知県立第三中学校が開校。明治三十三（一九〇〇）年四月一日のことです。

明治三十八年度の記録によれば、開校時の津島町の人口は三、四〇

〇戸で一五、四八九人。当時は一宮、稲沢地区からも誘致運動があったようですが、津島町の敷地全部を寄付して中学校の誘致を図るため、先覚者の熱意から設立許可となりました。



## 津島高等女学校の開校

高等女学校は明治四十年代、県内には六校ありましたが、尾西地区には設立されていなかったため、津島町は明治四十三年六月四日、海東郡に校舎の敷地九二二坪および二階建て校舎一棟を無償で貸与、かつ基本金のうち五〇〇円以上一、〇〇〇円以下の寄付をもって、高

等女学校建設の請願書を提出。この請願書はすぐには採択されず、五年後の大正四（一九一五）年三月十三日、敷地が四、五〇三坪、校舎建物一、〇六一坪で津島町立高等女学校として認可を受け、同年四月に開校しています。

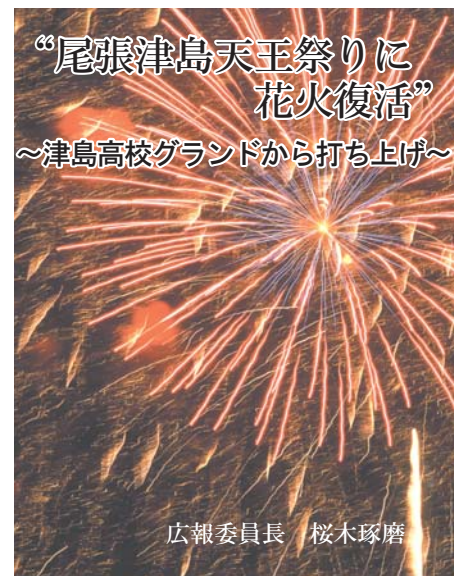
なお、旧講堂は大正四年に建てられ、老朽化しているものの設計や構造は当時の秀逸建築。創立一〇〇周年に向け、「智の館」としての改修計画が進行中です。

## 現在の津島高校

戦後は、新制高等学校の教育制度改革に伴って昭和二十三（一九四八）年、各地で合併や新設が進みました。母校は昭和二十五年、第三中学校と高等女学校が合併、愛知県立津島高等学校（普通課程、商業課程、家庭課程、定時制課程）が発足しました。

平成二十一（二〇〇九）年三月一日までの卒業生の累計は三六、五三二（三中卒四、九九四人、高等女学校三、六二三人）、うち昭和二十五年年度の新制高校からは二七九二五人。本年四月の在校生は一年三二一人、二年三一八人、三年三一八人の計九五七人で、定時制入学生は八八人。

昨年度卒業生では、甚目寺町の水野広介君が東京大学理学部へ合格しました。



厄疫退散を願う津島神社の「天王祭り」には、地元住民から打ち上げ煙火による温室、車両等への損傷の苦情が多く十五年度から打ち上げを中止、「花火なし」が続いていた。今年は、全国的にスポンサー企業の不況の影響で中止するため集客を見込んだ飲食店、露店商など観光産業にも影響する自治体が続出。中止されていた祭りを昨年観覧、「これは淋しい」として、打ち上げには津島高校のグラウンドを提供しては、と同窓会役員会で提言があった。

昨年十一月、伊藤市長とも折衝、二十一年度は花火復活のため、住まいの東京・虎ノ門から津島市へ「ふるさと納税」を活用し費用の一部の寄付を申し出た。今のささやかなる繁栄の原点は津島高校時代だと懐古成功を母校に報恩感謝し、ふるさとを愛してやまない千賀修一同窓会長だった。

「物心」ともに提供を受けた伊藤文郎津島市長（24回生）は五月十六日（土）、母校のグラウンドで試し打ちを実施、宮川町など地域住民への反響を調査、再開の説明をした。津島の「宵祭」には二号玉の花火二一〇発が打ち上げられ、七月二十五日午後八時から約一時間、天王川公園の夏の夜空が輝いた。

翌日、個人の敷地内は個人で、校内は高校生と市職員などボランティアで清掃した。

## ◆ 叙勲受章者の皆さん ◆

本校卒業生は各界でご活躍され、叙勲を受けられた方々も大勢みえます。長年のご苦勞に敬意を表し、同窓会会報でご紹介させていただきます。(今回は、理事会で叙勲を受けられた方のご報告をお願いして、理事の方からお知らせいただいた分をお載せ致しました。他にも叙勲を受けられた方がおみえになると思いますが、全部をお載せできずに申し訳ございません。ご本人やご家族、周囲の方々でぜひ同窓会事務局までお知らせください。)

受章時期	種 別	受章者ご芳名	本校回生	備 考
20 年 秋	瑞宝双光章	大 鹿 現	高校 4 回 生	保 護 司 更 生 保 護 功 勞
20 年 秋	瑞宝双光章	中 村 希 翼	高校 6 回 生	元 県 警 部 危 険 業 務 従 事 者
20 年 秋	瑞宝双光章	青 木 万 生	高校 7 回 生	元 中 学 校 校 長 教 育 功 勞
20 年 秋	瑞宝双光章	佐 藤 征 生	高校 8 回 生	元 中 学 校 校 長 教 育 功 勞

### 編集長より一言

学校で慣性の法則を習いました。ある物体がその運動を続けようとするのです。止まっているものも、動いているものもその状態を続ける性質があるというニュートンの法則。しかし、走る車にハンドルを切る、ブレーキを踏むなど別の力が加わると物体の様子は変わります。われわれの人間生活、行政や地域行事、会合のあり方まで同じことが言えます。ダラダラ続く表現には「惰性の法則」の方が合っているように思いますね。

昨今の同窓会を新感覚で見直すこと、先覚の母校創立の苦心と熱意を顕彰し相伝すること、人事を刷新し計画立案、行動に移すこと、それに異論あれば、弊風や怠惰の業あるを説得しつつ、他方で物心共に先頭に立つこと…これらはみんな難しい。物体と同様、方針は改善であっても未知に不安と抵抗があるからです。ではどうしたら変わるのか。そこに別の力が働くこと、様子は一変します。

新会長は同窓会の新しいあり方を提言したが、幹事学年はじめ役員間で当初は厚い壁に直面。目は曇り天を仰ぐ心境から、変革へ幾度も熱弁の末、同窓会会場の津島回帰ほか在校生の激励評価基金制度の気運も高まり名称を三稜会に。ここに母校への思いを熱くし、運営に陋習を改める感性の力が加わったのです。

広報委員長 桜木 琢磨

### 貸借対照表

平成 21 年 3 月 31 日現在

資産の部		(金額単位：円)	
科 目	当年度	前年度	増減
普通預金(一般会計)	2,203,816	1,631,171	572,645
同(記念事業積立)	2,182,371	2,179,489	2,882
同(松の木募金)	1,361,903	1,027,079	334,824
貯蔵品(一般会計)	876,750	1,008,000	-131,250
計	6,624,840	5,845,739	779,101
負債の部			
計	0	0	0
正味財産の部			
一般事業積立金	3,080,566	2,639,171	441,395
記念事業積立金	2,182,371	2,179,489	2,882
松の木募金積立金	1,361,903	1,027,079	334,824
計	6,624,840	5,845,739	779,101

### 正味財産増減計算書

自 平成20年 4 月 1 日  
至 平成21年 3 月 31 日

増加の部		(単位：円)
科 目	金 額	
当年度収支差額	572,645	
減少の部		
貯蔵品減少額	131,250	
当年度正味財産増額	441,395	
前年度繰越正味財産額	2,639,171	
当年度末正味財産合計額	3,080,566	

## 平成20年度 津島高校同窓会(一般会計)収支計算書

自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日

収入の部

(金額単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年決算額	摘 要
入 会 金 収 入	1,435,000	1,455,000	- 20,000	1,455,000	全日278名 定時13名
総 会 費 残 金	0	610,520	- 610,520		幹事学年31回生
そ の 他 の 収 入	2,031	1,322	709	312,021	総会費残金、利息
計	1,437,031	2,066,842	- 629,811	1,767,021	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年決算額	摘 要
総 会 補 助 金	200,000	200,000	0	200,000	
記 念 品 費	320,000	314,000	6,000	300,000	卒業30年、勤続10年職員
準 備 記 念 品 費	0	0	0	1,312,500	卒業50年用木盃500個
会 報 費	500,000	493,290	6,710	347,805	会報印刷及び送料
慶 弔 費	200,000	27,759	172,241	109,095	記念品、香典等
生 徒 記 念 品 費	100,000	57,456	42,544	58,653	卒業証書入れ
会 議 費	100,000	92,125	7,875	67,586	
事 務 費	180,000	163,447	16,553	37,677	郵送料、消耗品等
庭 園 維 持 費	300,000	0	300,000	300,000	校内庭園維持費
そ の 他 の 支 出	60,000	20,120	39,880	20,000	定通振興会賛助金
予 備 費	1,108,202	126,000	982,202	0	旧講堂コア抜き調査費
計	3,068,202	1,494,197	1,574,005	2,753,316	

当年度収支差額	- 1,631,171	572,645	- 2,203,816	- 986,295	
前年度繰越収支差額	1,631,171	1,631,171	0	2,617,466	
次年度繰越収支差額	0	2,203,816	- 2,203,816	1,631,171	

- 注1 予備費より流用 記念品費へ 20,000円 会報費へ 100,000円  
 会議費へ 30,000円 事務費へ 80,000円 予備費より 230,000円
- 注2 未使用の木盃 在庫 334個(単価2,625円) 876,750円 (貯蔵品保管)

平成20年度 周年記念事業積立金	
前年度繰越金	2,179,489円
預金利息	2,882円
次年度繰越金	2,182,371円

平成20年度 松の木募金	
前年度繰越金	1,027,079円
20年度総会募金	333,333円
預金利息	1,491円
次年度繰越金	1,361,903円

## 平成21年度 津島高校同窓会(一般会計)収支予算書(案)

自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日

収入の部

(金額単位：円)

科 目	前年度予算額	前年度決算額	当年度予算額	比較増減	摘 要
入 会 金 収 入	1,435,000	1,455,000	1,650,000	195,000	全日320名 定時10名 5,000円
総 会 費 残 金	0	610,520	0	- 610,520	幹事学年
そ の 他 の 収 入	2,031	1,322	1,322	0	利息
計	1,437,031	2,066,842	1,651,322	- 415,520	

支出の部

(単位 円)

科 目	前年度予算額	前年度決算額	当年度予算額	比較増減	摘 要
総 会 補 助 金	200,000	200,000	200,000	0	
記 念 品 費	320,000	314,000	320,000	6,000	卒業30年(幹事学年へ)
準 備 記 念 品 費	0	0	0	0	卒業50年用木盃
会 報 費	500,000	493,290	500,000	6,710	会報印刷及び送料
慶 弔 費	200,000	27,759	100,000	72,241	記念品、香典等
生 徒 記 念 品 費	100,000	57,456	100,000	42,544	卒業証書入れ
会 議 費	100,000	92,125	100,000	7,875	
事 務 費	180,000	163,447	200,000	36,553	郵送料、消耗品
庭 園 維 持 費	300,000	0	100,000	100,000	校内庭園維持費
そ の 他 の 支 出	60,000	20,120	30,000	9,880	定通振興会賛助金
予 備 費	1,108,202	126,000	501,322	375,322	
計	3,068,202	1,494,197	2,151,322	657,125	

当年度収支差額	- 1,631,171	572,645	- 500,000	- 1,072,645	
前年度繰越収支差額	1,631,171	1,631,171	2,203,816	572,645	
次年度繰越収支差額	0	2,203,816	1,703,816	- 500,000	

## 一〇周年記念事業にご協力を

### 一〇周年記念事業実行委員会 委員長 千賀修一

本校は、愛知第三中学校として創設され地域の拠点校として多くの人材を育ててきましたが、創立当初に比較して魅力が少なく高校となつていくことから、一〇周年記念事業を行うにあたり、伝統校として他校にない特徴ある設備・制度を作り、魅力ある高校にするための事業を行うこととしました。その大きな柱は旧講堂の改修・多目的建物の建設・三稜育英会の創設です。

## (二) (旧講堂の改修について)

本校の建物は昭和40年代から全て建替えられ、三中時代の建物が残っているのは旧講堂(大正12年建築)だけです。旧講堂は建築後80年以上経過しており、耐用年数をこえているというところから20年前に県は取りこわす方針を示したところ、当時の同窓会で同建物を保存して欲しいと要望した結果取りこわしが中止になりました。

一〇周年記念事業として旧講堂の保存することになり、コンクリートの検査の結果、基準以上の強度があり、一部雨漏りしていることから屋根の全面的葺きかえをすれば今後も長く保存できる

ということになりました。

旧講堂は、津島高校の原風景であり、同窓生・在校生にとつて「津島高校のシンボル」として残すこととし、建物内に在校生の自習室と三稜文庫(3万冊以上蔵書)を作り「智の館」とすることとしました。

## (二) (多目的建物の建設)

旧講堂は、現在卓球部が一部で使用し、雨天時の体育の授業等にも使われています。

また、現在同窓会幹事会・理事会を定時制の給食室を借りて開催しています。そこで、卓球部や雨天時の体育の授業等多目的な用途に使える建物を別途建設し寄付します。

## (三) (育英財団の創設)

本校に他の高校にない制度として一般財団法人三稜育英会(以下「育英会」という)を創設します。育英会は、本校の教育内容の充実向上の助成及び在校生・卒業生の育英を援助することを目的として次の事業を行います。

①本校の施設設備の改善の援助

②本校在校生の徳育・知育・体育に関する育英事業

③本校在校生・卒業生に対する

奨学金の貸与

④その他前各号の目的を達成するために必要な事業

また、本会の資産は、次に掲げるものをもって構成することになっていきます。

①設立時に拠出された基本財産

②本校同窓会(三稜会) 総会の剰余金

③寄付金

④資産及び事業より生ずる収入

## (四) (育英会資金の捻出について)

同窓会として母校発展のため寄付するには、寄付金を集めそれを後輩のために使うことです。本年までホテルで開催している総会を来年から津島文化会館で開催し経費を節約して残りを学校へ寄付することが決定されました。

即ち、母校の総会へ出席すると、自動的に母校へ参加費の一部が寄付されるという仕組みを作り、そこで集まった寄付金を育英会の運営に充当し、母校の施設の改善及び生徒の徳育・知育・体育に関する育英事業のために使うという制度を定着させたいのです。

このように総会の費用を節約して剰余金を寄付することを制度化すれば、毎年多額の育英会の基金を作ることができます。

## 創立一〇周年記念事業(骨子)

### 一. 記念行事

(一) 記念式典(平成22年11月5日) 津島文化会館で行う。  
記念行事を行う。  
記念式典終了後出席者(来賓・在校生を対象に同窓生を講師として記念講演会を開催)。

(二) 記念祝賀会(平成22年度同窓会総会を兼ねる)。  
平成22年11月14日津島文化会館で開催、会費一万円。祝賀会当日同窓生が母校を訪問するホームカミングデイとする。

### 二. 記念事業

(一) 旧講堂を改築し「智の館」として構築する(予算金四、〇〇〇万円)

(二) 多目的建物の建設(予算金三、〇〇〇万円)

(三) 一般財団法人三稜育英会の設立(予算金一、〇〇〇万円)

(四) 記念誌を発行する  
三、〇〇〇部 一冊三、〇〇〇円(送料込)で販売

(五) 同窓会名簿を刊行する  
五、〇〇〇部 一冊四、五〇〇円(送料込)で販売

(六) 募金  
会員名簿の広告を募集する  
目標額 八、〇〇〇万円

個人募金 一〇五、〇〇〇円  
(二〇口以上寄付の方に記念誌を三〇口以上の方に記念誌と同窓会名簿を贈呈)

法人募金 一〇一〇、〇〇〇円  
(一口以上寄付の法人に記念誌を二〇口以上の法人に記念誌と同窓会名簿を贈呈)

寄付者ご芳名の公示・顕彰  
・寄付者全員のご芳名を会報に掲載(匿名を希望される方を除く・以下同じ)

・「智の館」の中に「募金寄付者銘板」を設置し個人4口以上 法人2口以上寄付の方のご芳名を掲載

・個人100口、法人50口以上寄付の方に感謝状を贈呈